

今年^{やっこ}の奴も見逃せない!!

第34回 まつだ観光まつり

日時 8月27日(土) 午後3時30分～

場所 酒匂川町民親水広場ほか

イベント：立花学園軽音楽部 午後2時～3時30分

※パラグライダー体験もできます。午前10時～午後3時



パレード参加団体

- ①立花学園チアリーディング・吹奏楽
- ②寄まつり囃子
- ③開成町阿波踊り
- ④立花愛児園・幼稚園児奴
- ⑤松田小・中学生奴
- ⑥松田大名行列
- ⑦立正佼成会まとい
- ⑧みこし

松田町・開成町 合同開催

あしがら花火大会

— 東日本大震災被災地復興祈願 —

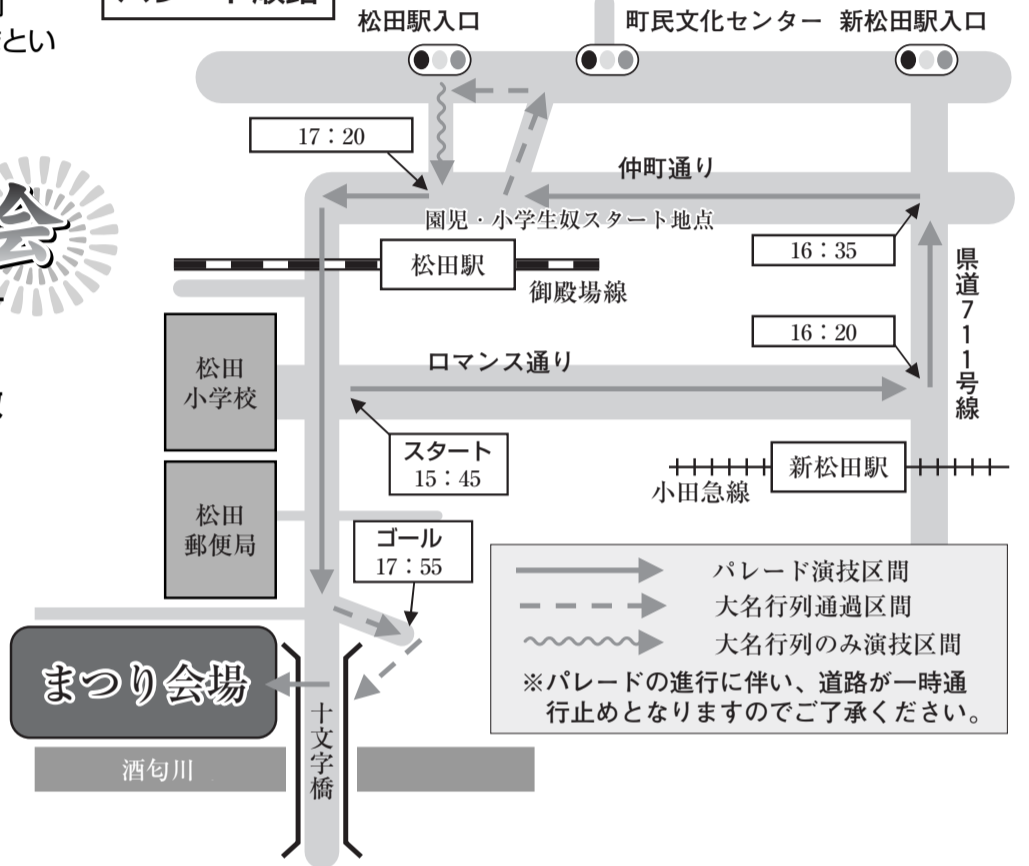
日時 8月27日(土) 午後8時～

場所 酒匂川・川音川合流地点河川敷



川音川文久橋から酒匂川左岸堤防道路～酒匂川足柄大橋まで、午後5時～10時までの間、車両通行止めとなります。なお、町屋下原地区の住宅街は、緊急車両のみの通行、一般住宅出入口につき全面駐車禁止となりますので、ご協力をお願いします。

パレード順路



松田山に火が灯る

百八ツ火

松田山に多くの松明が灯り、幻想的な雰囲気を作り出す「百八ツ火」。300年ほど前から行われているというこの百八ツ火の起源をご存じでしょうか。

現在は、「まつだ観光まつり」、「あしがら花火大会」と同日に行われている百八ツ火ですが、以前は、8月26日に「二十六夜祭り」という名称で行われていました。

その起源はというと諸説が混在しているのが実情です。町教育委員会発行の「松田町の年中行事」では、「納涼のため、小田原の御城主さまにご覧いただく」「小田原に戦などが起こったときに殿さまが松田山に避難する道を踏み固めておく」など多くの説が存在します。

その中で有力とされているのが、「虫送り」という風習と「二十六夜」

「まち」という風習が合わさってできたとする説です。「虫送り」とは、松明で足元を照らしながら行列で川辺まで行き、人形や長虫（ながむし）へびなどの意で用いられた）などを川に流したり焚きあげたりして天災や病虫害などの厄を払う風習です。対して、「二十六夜まち」とは、陰暦正月・7月26日の夜に出る月には弥陀三尊（みださんぞん）の姿を拝することができるとして、お堂に地区の人たちが集まり念仏を唱えながら月が出るのを待つというものです。

この2つの風習が合わさり、独自のものへと発展したとする説が他の説よりも信憑性が高いとされています。以上のとおり、確実な起源というものはおわかりませんが、さまざまに起源を想像しながら、灯火を眺めてみると、より幻想的なものに見えるかもしれません。8月27日の夜は、花火の前に百八ツ火をご覧になってみてはいかがでしょうか。

※点火日時
8月27日(土) 午後7時～

